



もう歳だから・・・治療しない??

いいえ。もう歳だからこそ、しっかりとした治療をしましょう!!

もう歳だから、あまり触りたくないというお気持ち、わかります。

でも、今こうやって歩いているうちは、「もう歳」なんて、まだ言えないのでは??

確かに、何十年ももつような高い自費の治療まではする必要は無いかもしれませんが。外科的な手術がいるような、インプラント治療まではする必要は無いかもしれません。

でも、お身体に負担のかからない、歯周病、虫歯、入れ歯などの治療は絶対に必要です。

本当に「歳だから治療しない」という状態は、もう寝たきりで、ご自分では動けず介助が必要で、ご自分で食べ物も食べられない、という状態です。

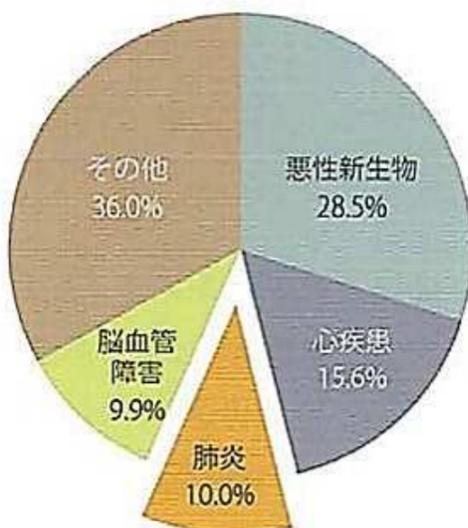
もう歳だからこそ、今のうちにしておかなければいけない治療があります。

それは・・・

※認知症などを予防するために、しっかりと奥歯の噛み合わせを作っておく治療。

※今後、入院したり寝たきりになっても、**誤嚥性肺炎**（高齢者の死亡原因の第3位）を起こしにくいような、ケアしやすいお口の環境を整える治療です。

もう歳だから、しっかりとしたお口の治療をしておき、何かがあった時にその治療に専念できるように準備をしておく必要があるのではないのでしょうか??



日本人の死因別死亡率
肺炎が死因の約10%を占めます。肺炎のうち7～8割は誤嚥によるものと推察されています
(厚生労働省「人口動態統計(平成23年)」より)

お口の中の細菌が、肺に入り肺炎を起こす。普段からの虫歯や歯周病、入れ歯のケアで、お口の中の細菌の量をコントロールしておく事が重要。

- 口** 虫歯などで歯が弱り、咀嚼力が低下する。唾液の分泌が減る。
- 喉頭蓋** 嚥下反射がうまくいかず、食物が気管支に入ってしまう。
- 食道** 喉頭、食道の筋力が低下する。
- 気管** 細菌を含んだ唾液などが、気管に入る。
- 肺** 細菌が肺に入って肺炎を起こす。
- 胃** 胃の内容物が逆流して気管に入る。

